

2025 年 9 月 2 日

昭和産業、トレードワルツが推進する  
「TradeWaltz for Grain Importers」の検討に参画  
～穀物・油糧種子業界における DX を加速～

株式会社トレードワルツ

株式会社トレードワルツ（以下:トレードワルツ）は、昭和産業株式会社（以下:昭和産業）が、現在開発中である「TradeWaltz for Grain Importers（以下:TGI）」に参画することをお知らせいたします。

昭和産業は、多種多様な穀物を取り扱う「穀物ソリューション・カンパニー」として、長年にわたり穀物・油糧種子の輸入に携わり、自社およびグループ内での業務効率化・DX 推進に積極的に取り組んでまいりました。しかしながら、商社とサイロ間の連携が鍵となる穀物輸入業務において、自社単独での改善のみならず、業界を巻き込んだ取り組みの必要性を強く感じておりました。そうした中で、TGI が掲げる「競争ではなく協調を促進し、企業を横断した業務の標準化を推進する」というビジョンに強く共感し、今回の検討参画を決定いたしました。

TGI は、穀物・油糧種子の輸入に特化した業界横断型プラットフォームであり、商社-サイロ間における本船情報のリアルタイム共有機能や通関書類の一元管理機能を備え、一連の穀物輸入に関わる業務の標準化・効率化を支援するプロダクトです。2024 年 10 月から開発が進められ、商社 7 社によるワーキンググループを中心に構想策定や仕様検討を進めており、2026 年 1 月の v1.0 リリースを目指しています。

2025 年 10 月から 12 月にかけて、リリース直前の試行運用が計画されており、昭和産業はこれに参画する予定であり、商社と共に改善提案を行い、現場の課題に即した機能開発に貢献します。

TGI は v1.0 リリース後も機能拡張による更なる情報の利活用や全体最適化を進める計画であり、昭和産業は次世代開発にも関与し、トレードワルツと共に穀物輸入に関する業務の生産性向上と業界全体の DX 推進に寄与して参ります。

■トレードワルツについて (<https://www.tradewaltz.com>)

株式会社トレードワルツは、貿易業務に関わる情報を電子データで一元的に管理できる貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz」を SaaS として運営・提供しています。NTT データと主要な貿易実務者 18 社からなる貿易コンソーシアムで約 4 年間のシステム開発・技術実証、法改正提案、事業構想を経て、サービス化。

現在は、株式会社 NTT データ、豊田通商株式会社、東京大学協創プラットフォーム開発株式会社、住友商事株式会社、三菱商事株式会社、株式会社 TW Link、東京海上日動火災保険株式会社、株式会社三井住友銀行、豊島株式会社、株式会社上組、株式会社フジトランス コーポレーション、三井倉庫ホールディングス株式会社、株式会社日新、株式会社三菱 UFJ 銀行、丸紅株式会社、三菱倉庫株式会社、株式会社みずほ銀行、損害保険ジャパン株式会社の 18 社の共同出資により、事業を運営しています。

本件に関するお問い合わせ先（株式会社トレードワルツ）  
広報・マーケティングチーム 担当：菊地、栞田 Email：[info@tradewaltz.com](mailto:info@tradewaltz.com)